

平成 22 年度

病虫害発生予察特殊報 第 2 号

平成 22 年 10 月 4 日
茨城県病虫害防除所
Tel : 029-227-2445

クロメンガタスズメの発生について

害虫名：クロメンガタスズメ
学名：*Acherontia lachesis* (Fabricius)
発生作物：タバコ

1. 発生確認の経過及び県外での状況

- (1) 平成 22 年 7 月、県央地域のタバコ圃場で、葉にスズメガ類と思われる幼虫の寄生と食害が見られた。農林水産省横浜植物防疫所に同定を依頼した結果、本県では未発生のクロメンガタスズメであることが確認された。
- (2) 本虫は広食性で多種の植物を食害することが知られているが、タバコにおける被害は本県では初めてである。なお、本虫の発生確認は西日本を中心に各地で記載等がある。

2. 形態

大型のスズメガの一種で、終齢幼虫は約 90mm もの大きさになる（写真 1）。体色は緑色型と褐色型があり、尾端に小突起がある尾角をもち、尾角の先端は上方に湾曲している。成虫は開張 100～125mm になり、胸部背面に人面に似た灰色の模様を帯び、名前の由来になっている（写真 2）。



写真 1 クロメンガタスズメ幼虫



写真 2 クロメンガタスズメ成虫

3. 生態と被害

成虫は 6～8 月の年 2 回、幼虫は 6～9 月にかけて発生するといわれており、タバコ等多種の植物の葉を食害する。幼虫の齢期がすすむと食害量も大きくなり、太い葉脈だけを残して食べ尽くす等、被害が大きくなる。幼虫は土中で蛹化し、蛹で越冬する。詳細な生活史等については不明であり、本県における越冬の可能性についても不明である。

4. 防除対策

- (1) 圃場をよく観察し、幼虫を確認したら捕殺する。
- (2) 現在のところ、クロメンガタスズメに登録のある農薬はない。